

2008 年

6 月 14 日（水曜日） - 日本の医療・癒し文明の発祥地としての丹後伝説 -

本日、北丹医師会総会に出席をさせていただきました。本市の病院、診療所に勤務されている医師、開業医の皆様には、何よりかけがえのない市民の生命、健康を日夜懸命に守り育てていただいております、心から深く感謝をしています。申し上げるまでもないことですが、そもそも人のまちの成り立ちの中で医療は必ずなくてはならないライフラインであり、今後とも医師の皆様、医療スタッフの皆様にお世話を賜りながら、市民の皆様、職員・関係者の皆様と一緒に本々市における医療環境の一層の充実に全力をあげていきたいと思っております。

ところで、丹後に古くから伝えられる代表的な伝説の一つに「羽衣天女伝説」があり、日本の三大羽衣伝説の一つにも位置付けられておりますが、この丹後伝説中の天女様は「万病に効くお酒づくり」が得意であられたと伝えられています。また、日本で起源が最も古いとされる「浦島太郎伝説」も丹後に残っており、浦島伝説もある意味で「不老長寿伝説」の断片を有する物語であります。さらに、古代中国の秦の始皇帝の時代に方士徐福が「不老不死の仙薬」を求めて丹後・伊根に滞在し、その後里人から仰慕され死後産土神として今に祀られています。このように、丹後は、古くから我が国の医療や癒し文明の発祥に関わるような伝承・伝説が伝えられているとともに、現在も、270 種類にも及ぶ豊富な薬草が自生しこれがご縁となり一昨年には中国最大の薬都・

はくしゅうし

毫 州 市 との間で友好交流都市の締結に導かれるなど、医療・癒しの原石・恵みを天来たくさんいただいております。また、心身を癒す温泉も豊富であり、西日本で一番美味しいと公式に評価される特 A 級のお米はじめ食も特級で、そして何と言っても、丹後には 100 歳以上の大長寿者がとても多く住んでおられ、人口当たり府下一、全国平均の 3～4 倍の弥栄を有する傑出した地域であります。

このような地光りする丹後の天来の財産、恩恵に深く感謝し、丹後がますます心と体のいやしの総合ステーションとして、今後とも末永くその豊富な癒しの天賦が一層活かされ育まれますよう、医師の皆様はじめ関係者の皆様と想いを共に、健康と医療の限らない向上と本源的な発展によく力を尽くしていきたいと念じています。